

科目名	急性期看護方法論 (Acute Care Nursing Methods)			科目コード	212
開講学科	看護学科	選択区分	必修	単位数(時間)	2単位(60時間)
科目区分	専門科目	履修時期	3年次前期	関連DP	看②
担当教員	松井 美由紀、宮宇地 秀代、仲田 琴美				
授業概要	急性期にある患者の看護(特に周術期看護)の方法と実際について教授する。 実践的な学習ができるようにシミュレーション教育を施しながらすすめていく。				
授業目標	急性期にある患者の看護を実践するための基礎的な知識と方法を修得することができる。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1～3	急性期/周術期看護の概要	急性期にある人の特徴と理解/手術侵襲と回復過程	松井美由紀
4～7	周術期看護の看護過程(1)	術後起こりうる合併症と看護を考える 【グループワーク】	松井美由紀
8～9	周術期看護の看護過程(2)	周術期過程に応じた看護(術前) 【グループワーク】	松井美由紀
10	周術期看護の看護過程(3)	周術期過程に応じた看護(術中)	宮宇地秀代
11～13	ドレーン管理	腹腔ドレーンおよび胸腔ドレーンの管理 【技術演習を含む】	松井美由紀
14～17	周術期看護の看護過程(4)	周術期過程に応じた看護(術後) 【術後観察の演習を含む】	松井美由紀 宮宇地秀代 仲田琴美
18～19	ストーマ管理	人工肛門造設術を受ける患者への看護 【技術演習を含む】	宮宇地秀代 仲田琴美
20～21	周術期看護の看護過程(5)	周術期過程に応じた看護(退院前) 【生活指導の演習を含む】	松井美由紀
22～23	救急看護と クリティカルケア(1)	救急医療体制と救急医療の特徴 循環不全と呼吸不全/人工呼吸器装着時の看護	松井美由紀
24～26	救急看護と クリティカルケア(2)	輸液管理・救急蘇生【技術演習】	宮宇地秀代 仲田琴美
27～28	急性期の症状アセスメント	浮腫/嘔気嘔吐/めまい	松井美由紀
29～30	急性期看護のまとめ	観察した結果から具体的な看護アプローチにつなげる【事例ワーク】	松井美由紀 宮宇地秀代 仲田琴美
成績評価方法	筆記試験(70%) 学習課題(30% 小テスト含む)		
教科書	雄西智恵美・秋元典子「周手術期看護論」(ヌーヴェルヒロカワ)		
参考図書等	監修/坂本すが「完全版ビジュアル臨床看護技術ガイド」(照林社)		
授業時間外の学習について	予習: 提示した学習課題、演習DVDの視聴およびグループ課題 復習: 授業で学習した内容を振り返り(技術は練習する)、実習に向けた準備につなげる。		
関連科目	人体の構造・機能(141～143), 臨床病態学I(153), 基礎看護学(201～209), 成人看護対象論(210)→本科目→急性期看護論実習(212)		
備考	<input checked="" type="checkbox"/> 松井、宮宇地、仲田: 看護師(医療機関) *授業は、時間割の都合上、日程等が変更になる可能性があります。 *技術練習をする場合は、担当教員に連絡すること		